

長島町地域公共交通総合連携計画

— 計画書（案） —

平成 22 年 3 月

鹿児島県 長島町

熊本県 天草市

熊本県 水俣市

《目 次》

序	計画策定の背景と目的	1
I	地域公共交通を取り巻く環境	2
1	計画策定の対象地域	2
2	対象地域の概況	3
3	九州新幹線の全線開通と南九州西回り自動車道の整備状況	5
II	獅子島航路の現状と課題	7
1	長島町における地域公共交通の概要と獅子島航路の位置づけ	7
2	獅子島航路の現状とニーズ	9
3	獅子島航路と結ぶ二次アクセスの現状と課題	16
4	獅子島における地域間交流及び広域観光交流における航路の利用促進	23
5	獅子島航路の課題	26
III	基本方針	28
1	航路の魅力創出	29
2	航路の認知度向上	31
3	航路を活用した周辺地域との交流促進	33
IV	地域公共交通連携計画の区域	35
V	地域公共交通連携計画の目標	36
VI	目標を達成するために行う事業及び実施主体	38
VII	事業スケジュール	49

序 計画策定の背景と目的

鹿児島県長島町獅子島は熊本県との県境にあり、有明海の南部に位置する人口 851 人（平成 17 年国勢調査）の離島である。

獅子島を発着する定期航路には、天長フェリー(株)経営の長島～獅子島～天草航路、(有)波戸汽船経営の長島～獅子島航路、(有)獅子島汽船経営の獅子島～水俣航路の 3 航路（以下、獅子島航路という。）がある。獅子島航路は、他に交通手段のない獅子島住民にとっては必要不可欠な「生活航路」である。また、長島町、天草市、水俣市の住民にとっては各地域間の移動を容易にする航路であることから、「広域経済圏航路」ということができ、地域社会の再生・活性化を進めるうえで重要な航路と位置づけられる。

しかしながら、獅子島航路は、急速な少子高齢化・過疎化の進展により利用の中心である獅子島住民の利用が減少していることに加え、近年の原油高騰による運航経費の上昇等から経営は一段と厳しくなっている。また、今後の社会情勢の展望として、公共事業の減少により業務関係者の利用も減少するとみられ、航路活性化に向けて的確な施策を実施しなければ、航路そのものの存続も心配される。

このような背景のもと、平成 21 年度には、自治体、航路・バス事業者、航路を利用する住民の代表、観光商工団体等から構成された「獅子島交通ネットワーク協議会」において、地域公共交通の現状と課題、地域間交流及び広域観光交流の現状と課題、航路活性化・再生に向けて実施すべき事業の検討等の調査結果を踏まえながら、航路の魅力創出や認知度向上、航路を活用した周辺地域との交流促進のための協議が重ねられたところである。

本計画は、平成 19 年 10 月に施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく支援制度を活用して策定するもので、平成 22 年度から 3 ヶ年にわたり、長島町及び関係自治体、航路事業者など関係者が連携して取り組むべき方針や具体的な施策について定めたものである。